

母と暮せば



原案 井上ひさし
作 畑澤聖悟
演出 栗山民也
協力・監修 山田洋次

平和を願うすべての人に捧げる、こまつ座「戦後」命の三部作」の第三弾。
ヒロシマ(「父と暮せば」)、オキナワ(「木の上の軍隊」)に続く、
ナガサキを描いたこまつ座渾身の一作がついに幕を開ける。

戦後70年に完成し、日本アカデミー賞をはじめ数々の賞を受賞した映画「母と暮せば」をもとに待望の舞台化。
井上ひさしが遺したナガサキの物語を畑澤聖悟(劇団 渡辺源四郎商店)が引き継ぎ、
栗山民也の手によってここに生み出される。

出演 富田靖子
松下洸平

核兵器というものは、どこまでも人間をつけ回し、なんどもなんども人間を騙し討ちにして、人間の生きる勇気と誇りとを台なしにする悪魔の贈物であって、こんなものを兵器だの爆弾だのと「やさし気に」呼んではいけない。たとえ、どんな理由があろうと、こんなものをつくったり、保持したり、人間の上に落としたりするやつは、この世の大ばかやろうである。

彼等はじつに人間の顔をした悪魔である。そう呼んでまちがいない。いや、人類の中で最初に、核兵器の正体が悪魔の弟子どもであることを体験したわたしたちには、そう呼ぶ資格と、そう呼ばねばならない(人類にたいする)聖なる務めがあります。
——— 井上ひさし

こまつ座 舞台「母と暮せば」

日時：平成30年11月3日(土・祝日) 午後2時開演(午後1時30分開場)

場所：花巻市文化会館 大ホール

料金：一般4,000円 小中高生2,000円(全席指定)

発売日：9月15日(土)午前10時から(電話予約は午後1時から)

未就学児の入場はご遠慮ください。無料託児サービスをご利用ください(2歳以上、2日前までに要予約)
車椅子をご利用のお客様はあらかじめ文化会館までご連絡ください。

プレイガイド：花巻市文化会館、なはんプラザ、正時堂、イトウセイ、いせかん、砂田屋石鳥谷店、道の駅とうわ
【北上】さくらホール、江釣子ショッピングセンターパル 【盛岡】岩手県民会館

第478回花巻市文化会館自主事業

この公演は、優れた舞台芸術をより多くの方々に低料金で鑑賞していただくため、花巻市が経費を負担して主催するものです。

●主催：花巻市 ●共催：岩手日報社 ●後援：岩手朝日テレビ ●お問合せ：花巻市文化会館 ☎0198-24-6511